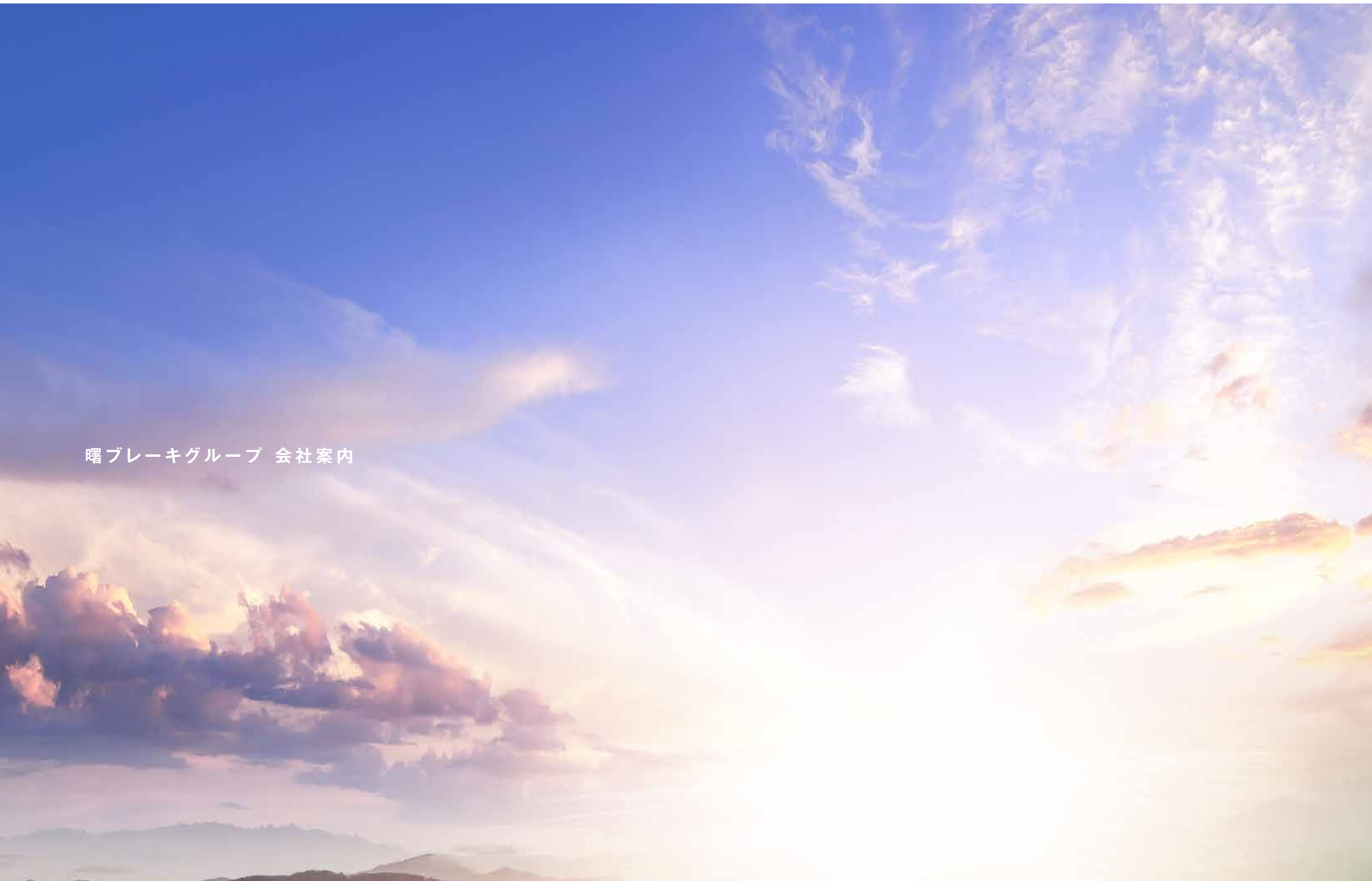


曙ブレーキグループ 会社案内





総合ブレーキメーカーとしての理念、私たちはそこから未来に続く第一歩を踏み出します。

社是「誠和魂」

「以誠接人」「以和計事」「以魂貫志」

(誠をもって人に接し 和をもって事を計り 魂をもって志を貫く)

誠実に人と接すること、人との和をもって物事を進めること、魂をもって志したことをやり遂げる
こと。その大切さを説いたこの社是は、1964年に制定され、同年には現在も続く社内報「誠和魂」
(せいわこん)も創刊されました。これにより、社是は今も社員に広く浸透しています。

理念「曙の理念」

私達は、「摩擦と振動、その制御と解析」により、
ひとつひとつのいのちを守り、育み、支え続けて行きます。

akebonoは、グループ全体の求心となる理念のもと、akebonoが進むべき道を示すことが重要と考え、1999年に「曙の理念」を制定しました。
「摩擦と振動、その制御と解析」は、akebonoのコア技術です。「制御」が「解析」の前にあるのは、解析する前に、まず、困っているお客様の問題解決に取り
組む、そして、その解析も怠らないというakebonoの姿勢を表しています。
守っているのは人のいのちだけではありません。「ひとつひとつのいのち」には、人間だけでなく、草木に至るまで、地球上のあらゆる生物、引いては地球
環境そのものもいのちのひとつとみなし、それらを守り、育み続けていくために、健全な経営のもとで企業価値を創出していくことを定めています。
私たちは、「曙の理念」を実現することで、持続可能な社会の発展に貢献していきます。

いま、すべての社員が一丸となって皆様の声にお応えする。 それが私たちの使命です。

自動車業界は大きな変革の時代を迎えています。この変化に対応していくための礎となるのは、創業以来90年以上に及ぶ歴史の中で、長年培ってきた技術であり、それを受け継ぎ、発展させてきた社員一人ひとりです。

akebonoは、2019年10月に新経営体制を発足させ、事業再生計画の下、事業構造改革の各施策に取り組んできました。拠点の再編や生産最適化といった各施策を、事業再生計画に沿って着実に実行しています。さらに将来の持続的な成長に向けたビジネスの基盤強化も着々と進めています。

しかしながら、この数年、コロナ禍に加え、半導体不足をはじめとした部品供給不足などによる完成車メーカーの減産、原材料価格やエネルギーコストの市況高騰など、大変厳しい状況が続きました。このような厳しい事業環境下ではありますが、2024年6月末までの事業再生計画は、必ず達成しなければなりません。

この事業再生計画を達成し、その先の成長を成し遂げるためには、社員一人ひとりの力が必要です。そのための指針として、私は「5つの目指す姿」を掲げました。それは、「①徹底的にお客様第一であること」「②受身ではなく提案型、気概と執念を持ち、やり遂げること」「③コスト意識を持つこと」「④5ゲン主義(現地 現物 現認 原理 原則)であること」「⑤頑張りや成果を出す社員に報いること」の5つです。

akebonoの培ってきた技術を活かし、社員一人ひとりが力を合わせて、事業再生計画を達成するための指針が「5つの目指す姿」であり、それはそのまま、当社の強みを表す言葉でなければならないと思っています。

さらに、モノづくりの企業として、世界の安全・安心に貢献する、それもまた我々の使命だと考えています。長年、サステナビリティへの取り組みを進めてきており、製造工程におけるCO2排出量を半減させた摩擦材の開発や、燃費、さらには電動車の電費を抑える、引きずり抵抗を抑えたブレーキの開発など、環境負荷低減に向けた取り組みも実施しています。こうしたakebonoの技術は、これからの社会に大きく貢献するものであると確信しています。

akebonoは、事業再生計画の達成とその先の将来の成長に向けて、2023年度の会社方針を「1.事業再生計画の確実な達成」「2.競争力の原点となるモノづくり強化“SQDC+E”のさらなる推進」「3.将来の持続的成長を睨んだ、事業シナリオの作成と展開」と決めました。特にモノづくりの企業として競争力を向上し、事業再生計画の達成につなげるため、「S:安全」「Q:品質」「D:納期」「C:コスト」、さらに「E:環境」を重要課題として、向上活動に取り組んでいます。これらの活動を着実に進め、会社方針を実現するべく、akebonoは、全社一丸となって真摯に取り組んでまいります。

皆様のご支援に心より感謝申し上げますとともに、今後とも皆様のご理解・ご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

曙ブレーキ工業株式会社
代表取締役社長 CEO

高田 康弘



事業再生計画

曙ブレーキグループは、産業競争力強化法に基づく特定認証紛争解決手続（事業再生ADR手続）の中で、全てのお取引金融機関からご同意いただいた事業再生計画に沿って、事業再構築のための各施策に取り組んでおります。

事業再生計画では、全ての拠点・事業部門において、
聖域なき構造改革を実行し、黒字化の実現を目指す



事業再生計画を達成し、曙ブレーキグループのさらなる成長につなげる

■ 事業再生計画期間

2019年 9月18日（事業再生計画の成立日）～
2024年 6月30日（事業再生計画の計画期間の終了日）

■ 事業再構築のための施策（骨子）

① 経営体制の強化 ② 事業構造改革 ③ 財務体質健全化

■ 事業構造改革の各地域における施策とその進捗

<日本>

計画	生産性改善、合理化及び経費削減等のコスト削減、工場の縮小及び低採算製品・不採算取引の改善、並びに設備投資、開発費、親子ローン等の支出項目について、厳格な承認プロセスの再構築
----	--

○ 主な実施施策とその進捗

施策	進捗
本社間接系従業員の早期退職措置	<p>✓実施済</p> <ul style="list-style-type: none"> 募集期間：2020年2月24日～2020年3月23日 実施期間中の自己都合退職者を含めると、計画は概ね達成。
国内生産拠点の早期退職措置	<p>✓実施済</p> <ul style="list-style-type: none"> 募集期間①：2020年12月21日～2021年2月12日 募集期間②：2022年12月19日～2023年2月9日 募集人数を上回る応募があり、計画は達成。
国内4工場の縮小	<p>実施中</p> <ul style="list-style-type: none"> 当初計画の山陽製造の段階的な縮小・閉鎖及び福島製造の縮小を国内4工場の縮小に変更。 国内工場間の生産移管が2022年10月に計画より前倒しにて完了。引き続き工場の生産最適化に向けた改善活動を継続中。 国内生産再編にともなう人員適正化を実行。その他、生産最適化に向けた各施策を着実に実行することで固定費削減を進め、計画達成を目指す。
連結子会社との吸収合併	<p>✓実施済</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業再構築に向けた構造改革の一環として、開発体制をさらに集中・強化し、競争力を高めることを目的として、連結子会社である(株)曙ブレーキ中央技術研究所、(株)曙アドバンスドエンジニアリングを吸収合併。 連結子会社で培ってきた基礎研究、先端技術の研究及びその開発、事業のノウハウを受け継ぎ、当社で一体的な事業運営を行うことによる相乗効果により、全体の開発力強化につなげる。
日本橋本店の売却	<p>✓実施済</p> <ul style="list-style-type: none"> 2020年3月に完了。

<北米>

計画	工場の閉鎖及び売却、資金管理面での承認プロセスの遵守並びにその他コスト改善
----	---------------------------------------

○ 主な実施施策とその進捗

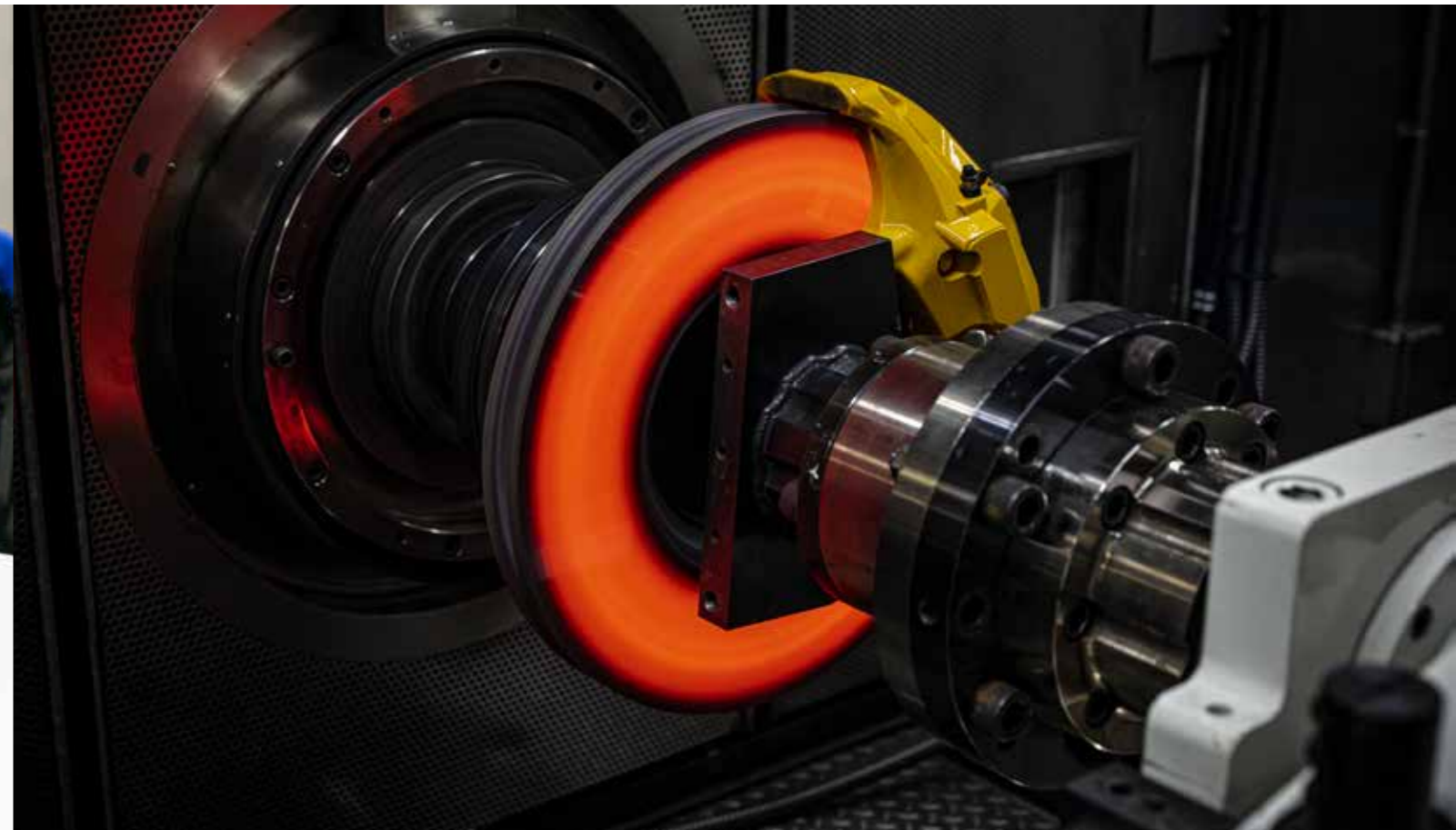
施策	進捗
生産2拠点の閉鎖	<p>✓実施済</p> <ul style="list-style-type: none"> テネシー州の工場とサウスカロライナ州の工場の閉鎖が完了し、土地・建物等の売却処理も完了。
生産拠点の最適化	<p>実施中</p> <ul style="list-style-type: none"> 北米における事業再構築のための施策として、2025年12月を予定としてケンタッキー州のエリザベスタウン工場の生産を終了・閉鎖し、米国1工場体制を確立することを決定。

<欧州>

計画	事業及び拠点再編を含む構造改革
----	-----------------

○ 主な実施施策とその進捗

施策	進捗
フランスの拠点の閉鎖	<p>✓実施済</p> <ul style="list-style-type: none"> Akebono Europe S.A.S.（フランス）の解散が予定どおり2022年6月末に完了。 フランスのゴネスにある研究開発拠点は、2021年3月末に閉鎖が完了し、その後進めていた土地・建物等の売却も2022年6月末に完了。 フランスのアラス工場は、2022年6月末に閉鎖が完了し、その後進めていた土地・建物等の売却も2023年4月までに完了。 営業利益の黒字化が実現されたこと及び将来の新規受注の可能性が高いことを理由に存続を決定したスロバキア工場及びそれを支援するドイツ拠点は、新規のお客様も含む複数のお客様から引き合いをいただいております。新規受注活動を鋭意展開中。
英国の拠点の閉鎖	<p>✓実施済</p> <ul style="list-style-type: none"> 閉鎖を完了。



お客様のご要望にお応えするために、私たちは開発から製造まで最善を追求し続けています。



akebonoは「お客様ニーズ」と「社会ニーズ」に応えていきます。

akebonoは独立系ブレーキ専門メーカーとして、世界中のお客様に安全と安心を提供しています。コンパクトカー向けからハイパフォーマンスカー向けまで、さまざまなカテゴリーの製品を開発・製造。多様な分野への展開とともに、次世代技術の開発に注力することで、安全・安心な社会づくりに寄与していきます。



200km/hを超える高速走行から急ブレーキをかけ、ブレーキの性能を評価・検証

開発・実験設備

高性能ダイナモーターの導入により、過酷な条件下での走行をシミュレーションすることが可能となりました。ダイナモでは、速度のみならず、温度や風速などの走行環境を変えることができ、お客様の様々な要求に応える環境を再現することができます。回転しているローターにかかるブレーキパッドの面圧を解析することも可能となり、ブレーキパッドの偏摩耗を防ぐなど、ブレーキの制動力に直結する解析技術の向上に大きく貢献しています。

独立系総合ブレーキメーカーakebonoのラインナップ

akebonoは総合ブレーキメーカーとして、ディスクブレーキパッドやドラムブレーキライニングなどの摩擦材、ディスクブレーキ、ドラムブレーキなどの機構部品を開発、製造しています。

自動車用製品



高性能量販車用
6ポットブレーキキャリパー



高性能量販車用
10ポットブレーキキャリパー



高性能車用
10ポットブレーキキャリパー



乗用車用
フローティングタイプ
ディスクブレーキ



オボースドタイプ
ディスクブレーキ



商用車用
フローティングタイプ
ディスクブレーキ



耐久レース用
ブレーキキャリパー



耐久レース用
ブレーキキャリパー



乗用車用
ドラムブレーキ



商用車用
ドラムブレーキ



ディスクブレーキパッド

ドラムブレーキ
ライニング



高性能量販車用
6ポットブレーキパッド



高性能量販車用
10ポットブレーキパッド



耐久レース用
ブレーキパッド

独立系総合ブレーキメーカーakebonoのラインナップ

akebonoは、自動二輪車、鉄道車両、産業機械など、幅広い分野のブレーキ製品を製造しています。
さらに、ブレーキの振動解析技術を活かしたセンサー製品も開発・製造しています。

自動二輪車用製品



自動二輪車用
ブレーキキャリパー



自動二輪車用
マスターシリンダー

鉄道車両用製品



新幹線用
ディスクブレーキ

新幹線用等面圧
ディスクブレーキライニング



在来線用ディスクブレーキ
ライニング



地下鉄用
ディスクブレーキライニング



鉄道車両用制輪子

産業機械用製品



フォークリフト用
ドラムブレーキ



カーエアコン用
クラッチフェーシング



ラフテレーンクレーン用
ディスクブレーキ



エレベーター用ブレーキシュー

補修品

ブレーキパッド
(アフターマーケット製品)



センサー製品

センサー
クラスター

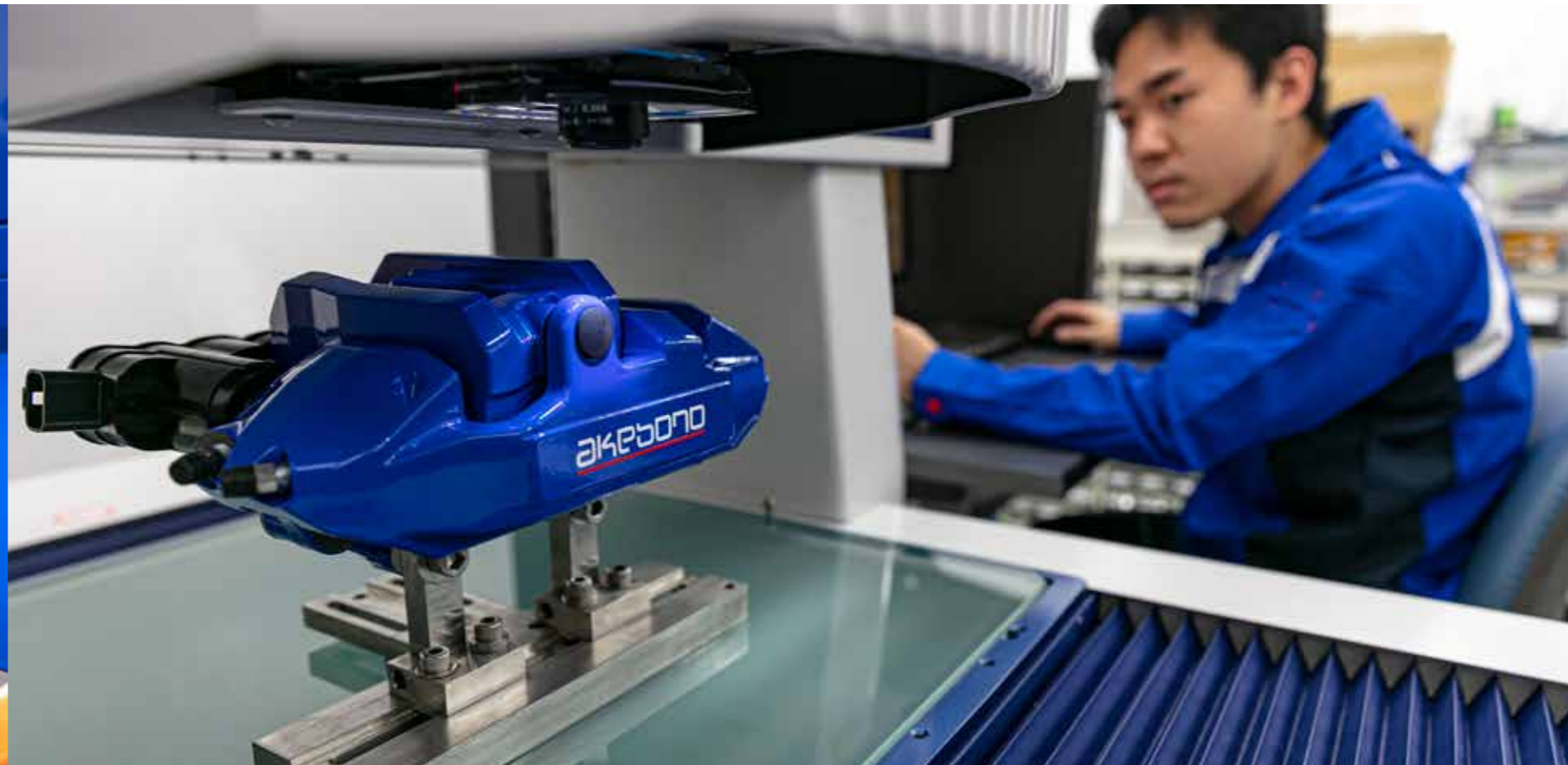


車両挙動監視装置
(鉄道車両用)



脱線検知装置
(鉄道車両用)





求められることの、さらにその先へ向かう。チャレンジすることこそが私たちの提案です。



理想を実現するために、さらに過酷なフィールドを求めて。

akebonoはブレーキのエキスパートを目指し、2002年にモータースポーツへの挑戦をスタートさせました。2007年にはF1へのブレーキ供給も開始。F1をはじめとしたモータースポーツへの挑戦は、akebonoの技術力向上とエンジニアの育成に大きく寄与してきました。F1への挑戦が高性能車向けブレーキの開発や採用にもつながり、市販の量産車の技術レベル向上にもつながっています。

常に根底に流れるチャレンジ精神とともに次世代へ。

加速する自動車の電動化や自動運転化に対応すべく、電動ブレーキの開発に注力しています。akebonoは、1つのモーター出力を2つのピストンに伝達できる独自構造の中・小型トラック用電動パーキングブレーキを開発しました。また、高性能車用ブレーキの開発で培ってきた技術を活かして、スポーツタイプの電気自動車用にオールドタイプ電動パーキングブレーキキャリパーも開発し、量産を開始しました。



生産に関わるすべてのシーンに、さらに向上するきっかけがあると私たちは考えています。



**安全と品質を担保し生産性を向上させ
「原価低減」「人材育成」へ。**

akebonoは、各生産拠点でSQDC+E向上活動に取り組んでいます。この活動の基本的な考え方は、「安全と品質を確保しながら、納期厳守や原価低減に向けて活動すること」です。各生産拠点で、それぞれ「S (Safety:安全)」「Q (Quality:品質)」「D (Delivery:納期)」「C (Cost:コスト)」「E (Environment:環境)」の担当リーダーを定め、各自の目標を宣言し、拠点の社員全員参加で活動に取り組んでいます。



**真摯に向き合い本質的な解決を目指す
「5ゲン主義」。**

2019年に発足した新体制の下、akebonoは、5ゲン主義（現地 現物 現認 原理 原則）の実践を目指しています。何か問題があれば「現地」「現物」「現認」で確認し、問題を解決しなければならない。問題と真摯に向き合い本質的な解決を目指す。次に何が起こるか予測するために「原理」を追及する。社員一人ひとりが「原則」をしっかり守って行動する。akebonoは、全ての業務において5ゲン主義を実践していきます。



さらなる品質の向上や次世代への積極的な対応など、私たちは常にその先を目指していきます。



**環境負荷低減に向けた
積極的な取り組みを実施。**

akebonoでは、2016年より摩耗粉測定技術に取り組み始め、摩耗粉をほぼ全て捕集する技術、摩耗粉の量、粒子の大きさの分布測定技術の開発を完了しています。2020年には日本自動車技術会規格 (JASO) によって行われた測定技術の標準化活動を先導しました。今後も、この技術を活用した摩擦材開発を進め、環境負荷低減に積極的に取り組んでいきます。



**企業としての社会的責任に
正面から取り組む。**

akebonoは、次世代製品開発として、製造過程でのCO₂発生量を従来比で50%削減できるブレーキパッドを開発しました。製造時間を50%以下に短縮し、さらには、ブレーキを作動させたときに発生するブレーキ摩耗粉の量も低減できるブレーキパッドです。今後は製品化に向けさらなる取り組みを進めていきます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

取り組みの詳細に関しては、こちらをご確認ください。

人事制度 WEB	社員の状況 WEB	健康経営 WEB
-------------	--------------	-------------

人事基本方針

「会社を成功に導く最も重要なファクターは『人財(社員)』である」という考えのもと、「社員一人ひとりに機会を提供し、会社の成功を共に分かち合える社員を支え続けていくこと」を基本方針として、「個の確立」と「相互の尊敬と信頼」を基盤に、グローバルでの長期人事政策の構築を目指しています。

ダイバーシティ・マネジメント

akebonoのダイバーシティ・マネジメントは、『多様化推進』、『キャリア支援』、『ワークライフバランス推進』を3つの基本テーマとして、社員一人ひとりの能力を最大限に発揮できる組織づくりを行い、新たな価値創造と企業価値の向上に結びつけることを目標としています。

会社が一人ひとりを支える。一人ひとりが会社を支える。モノづくりは人づくりです。



女性活躍推進「えるぼし認定」を取得

akebonoは女性を含むすべての社員がいきいきと働ける企業を目指し取り組みを続けており、2016年には、「えるぼし認定* (3段階目)」を受けました。えるぼし認定制度は、女性活躍推進法に基づいて行動計画の策定と策定内容の届出を行った事業主のうち、女性の活躍推進に関する取り組みの実施状況などが優良な事業主が、都道府県労働局への申請により、厚生労働大臣の認定を受けることができる制度です。

*女性活躍推進法に基づく「基準適合一般事業主」認定の公式愛称



次世代育成支援認定マーク「くるみん」3回目の取得

akebonoは、2016年に埼玉労働局から「次世代育成支援対策推進法」に基づく「子育てサポート企業」として認定を受け、次世代育成支援認定マーク「くるみん」マークを取得しました。2007年11月、2013年6月にも認定を受けており、2016年で3回目の「くるみん」マーク取得となります。



健康経営

akebonoは、「働き方改革」「心身両面の健康促進」「健康意識向上」を3本柱に健康経営推進に取り組んでいます。全社一体となった健康づくり活動により、2023年には、「健康経営優良法人2023 (大規模法人部門)」の認定を受けました。これは、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度で、今回は6年連続6回目の認定となります。



事業所内保育所「あけぼの保育園」(Ai-Kids)

2018年に開園した「あけぼの保育園」は、「働き方改革」の一環及び社員の福利厚生の充実、また地域社会への貢献を目的として設立されました。



研修センター「Ai-Village」

研修センター「Ai-Village」は、Ai-City(本社)に2012年に建設されました。グローバル人財の創出を目的として、様々な研修が行われています。現在は、集合研修とオンライン研修の両輪で、研修のさらなる充実を実現しています。



障がい者の雇用(あけぼの123)

akebonoの特例子会社、あけぼの123(株)では、「社員に人として自立してもらおう」という理念のもと、障がい者が仕事を通じて成長できる職場づくりに取り組んでいます。障がい者の雇用やその能力を活かした職場づくりを積極的に取り組んでいることが評価され、2007年4月以来「埼玉県障害者雇用優良事業所」として6期連続認証されています。



欧州



高性能ブレーキ

- ① Akebono Europe GmbH
- ② Akebono Brake Slovakia s.r.o.

高性能ブレーキ

北米



ディスクブレーキ ドラムブレーキ ブレーキパッド

- ① Akebono Brake Corporation (北米本社)
- ① Akebono Engineering Center (研究開発)
- ② Akebono Brake Corporation (Elizabethtown)
(北米本社機能、販売、マーケティング)
- ② Akebono Brake, Elizabethtown Plant
- ③ Akebono Brake, Glasgow Plant
- ④ Akebono Brake Mexico S.A. de C.V.

ディスクブレーキ ドラムブレーキ 高性能ブレーキ
ブレーキパッド
ディスクブレーキ ドラムブレーキ

曙ブレーキ工業(株)



鋳物 高性能ブレーキ

- ① 本店(グローバル本社)
- ② 関東営業所
- ③ 館林鋳造所
- ④ Ai-Ring (テストコース)
- ⑤ Ai-Village (グローバル研修センター)
- ⑥ Ai-Museum (ブレーキ博物館)
- ⑦ 中部オフィス
- ⑧ 札幌営業所
- ⑨ 仙台営業所
- ⑩ 首都圏営業所
- ⑪ 大阪営業所
- ⑫ 広島営業所
- ⑬ 福岡営業所
- ⑭ HP製造部

鋳物
高性能ブレーキ

Europe

North America

Akebono Brake Industry Co., Ltd.

Japan



Asia

アジア



ディスクブレーキ ドラムブレーキ ブレーキパッド ブレーキライニング 二輪ディスクブレーキ 二輪マスターシリンダー 鋳物

- ① Akebono Brake (Thailand) Co., Ltd.
ディスクブレーキ ブレーキパッド
- ② A&M Casting (Thailand) Co., Ltd.
鋳物
- ③ Akebono Cooperation (Thailand) Co., Ltd.
- ④ 広州曙光制動器有限公司 Akebono Corporation (Guangzhou)
ディスクブレーキ ドラムブレーキ
- ⑤ 曙光制動器(蘇州)有限公司 Akebono Corporation (Suzhou)
ブレーキパッド
- ⑥ PT. Akebono Brake Astra Indonesia
ディスクブレーキ ドラムブレーキ ブレーキパッド
ブレーキライニング 二輪ディスクブレーキ 二輪マスターシリンダー
- ⑦ Akebono Brake Astra Vietnam Co., Ltd.
二輪ディスクブレーキ 二輪マスターシリンダー



日本



ディスクブレーキ ドラムブレーキ ブレーキパッド ブレーキライニング 新幹線ディスクブレーキ クラッチフェーシング

- ⑪ 曙ブレーキ 山形製造(株)
ブレーキパッド クラッチフェーシング
- ⑫ 曙ブレーキ 福島製造(株)
ブレーキライニング クラッチフェーシング
- ⑬ 曙ブレーキ 岩槻製造(株)
ディスクブレーキ 新幹線ディスクブレーキ
- ⑭ 曙ブレーキ 山陽製造(株)
ドラムブレーキ ホイールシリンダー
- ⑮ (株)アロックス
- ⑯ あけぼの123(株)(特例子会社)
- ⑰ (株)アケボノキッズケア(保育所)

会社概要

商号	曙ブレーキ工業株式会社	
本店(グローバル本社)	〒103-8534 東京都中央区日本橋小網町19番5号 03-3668-5171(代表)	
	MAP	
Ai-City(本社)	〒348-8508 埼玉県羽生市東5丁目4番地71号 048-560-1500(大代表)	
	MAP	
創業	1929年(昭和4年)1月27日	
設立	1936年(昭和11年)1月25日	
資本金	199億円(2023年3月末現在)	
売上高(連結)	1,540億円(2022年度)	
従業員数(連結)	5,720名(2023年3月末現在)	

役員一覧

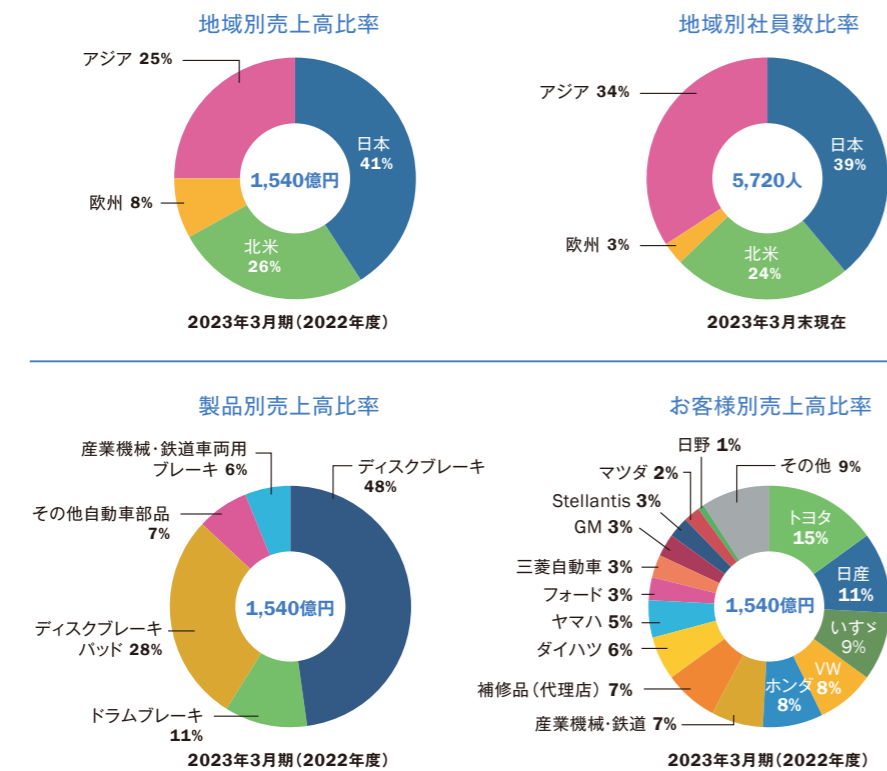
2024年1月1日現在



取締役	代表取締役	社外取締役(監査等委員)	執行役員	社長 CEO	宮地 康弘
	宮地 康弘		執行役員 CMO	安藤 昌明	
	安藤 昌明		執行役員 CPO	岡 慶一	
			執行役員 CTO/CQO	西村 誠司	
			執行役員 CFO	宇佐美 健史	
			執行役員	田中 潔	
			執行役員	渡邊 高夫	
			執行役員	小池 佐智夫	
			執行役員	石田 憲英	
			執行役員	前上 亮子	
			執行役員	湯田 克久	

※CEO (Chief Executive Officer)、CMO (Chief Marketing Officer)、CPO (Chief Production Officer)、CTO (Chief Technology Officer)、CQO (Chief Quality Officer)、CFO (Chief Financial Officer)

売上高比率・社員数比率



沿革



- 1929年** 曙石綿工業所を創業、ウーブンブレーキライニング、クラッチフェーシングの製造開始
- 1936年** 曙石綿工業(株)を設立
- 1939年** 羽生製造所建設、稼働開始
- 1960年** 曙ブレーキ工業(株)に改称
米国ベンディックス社とブレーキに関する技術援助契約を締結
- 1961年** 東京証券取引所市場第二部に上場
- 1962年** 岩槻製造所建設、稼働開始(現 曙ブレーキ岩槻製造(株))
- 1965年** 晝田工業(株)、三菱重工業(株)と共同出資で
山陽ブレーキ工業(株)を設立(現 曙ブレーキ山陽製造(株))
- 1971年** 福島製造所建設、稼働開始(現 曙ブレーキ福島製造(株))
- 1979年** 岩槻製造所、AD型ディスクブレーキの量産を開始
- 1982年** AD型ディスクブレーキ「昭和56年度日本機械学会賞」受賞
- 1983年** 東京証券取引所市場第一部に上場
- 1986年** 米国GM社との合弁会社 Ambrake Corporation を設立
(現 Akebono Brake, Elizabethtown Plant)
- 1988年** テストコース「曙ブレーキ・ブルーピング・グラウンド」完成
(福島県いわき市)(現 Ai-Ring)
- 1992年** 曙ブレーキ山形製造(株)を設立
- 1994年** 米国現地法人 Amak Brake L.L.C. を設立
(現:Akebono Brake, Glasgow Plant)
- 1996年** インドネシア PT. Tri Dharma Wisesa に資本参加
(現 PT. Akebono Brake Astra Indonesia)
- 1998年** 米国現地法人 Akebono Corporation (North America) を設立
(現 Akebono Brake Corporation)
- 2001年** 本社新社屋「Akebono Crystal Wing (ACW)」竣工
- 2003年** あけぼの123(株)を設立
- 2004年** ドイツ現地法人 Akebono Europe GmbH を設立
ブレーキ博物館「Ai-Museum」完成
- 2006年** 中国現地法人 広州曙光制動器有限公司、曙光制動器(蘇州)有限公司を設立
- 2007年** タイ現地法人 Akebono Brake (Thailand) Co., Ltd. を設立
- 2008年** F1に新規参戦、マクラーレンチームのオフィシャルサプライヤーになる
- 2008年** 館林鋳造所稼働開始
- 2011年** ベトナム現地法人 Akebono Brake Astra Vietnam Co., Ltd. を設立
- 2012年** メキシコ現地法人 Akebono Brake Mexico S.A. de C.V. を設立
- 2014年** スロバキア現地法人 Akebono Brake Slovakia s.r.o. を設立
タイに(株)真岡製作所との合弁会社
A&M Casting (Thailand) Co., Ltd.を設立
- 2016年** 「市販ロードカー用高性能自動車ブレーキの開発と量産化」において
「日本機械学会賞(技術)」を受賞
- 2018年** (株)アケボノキッズケアを設立し、あけぼの保育園(Ai-Kids)を開園
- 2019年** タイ現地法人 Akebono Cooperation (Thailand) Co., Ltd. を設立
事業再生ADR手続を経て、新経営体制へ移行
- 2022年** 東京証券取引所の市場区分の見直しにより市場第一部からプライム市場へ移行
耐久レース用ブレーキキャリア「NR22」が2022年度グッドデザイン賞を受賞